目　次

第1章　中医学の特徴　1

Ⅰ．統一体観 …… 2
　A．人体内部の統一体観 …… 2
　B．人体と自然環境の間の統一体観 …… 2
Ⅱ．弁証論治 …… 3
　A．弁　証 …… 3
　　1 四　診 …… 3
　　2 弁　証 …… 4
　B．論　治 …… 5

第2章　基礎理論　7

Ⅰ．精・陰・陽・気・血・津液 …… 7
　A．精 …… 7
　　1 精の生成 …… 8
　　2 精の機能 …… 8
　B．陰と陽 …… 9
　　1 陰陽の生成と運行 …… 9
　　2 陰陽の生理機能 …… 9
　C．気 …… 9
　　1 気の生成と運行 …… 9
　　2 気の機能 …… 11
　　3 気の分類 …… 12
　D．血 …… 13
　　1 血の生成と運行 …… 14
　　2 血の機能 …… 14
　　3 臓腑の血 …… 14
　　4 血の意味の違い …… 14
　E．津　液 …… 15
　　1 津液の生成と運行 …… 15
　　2 津液の機能 …… 16
　　3 津液の分類 …… 16
　F．気・血・精・津液の関係 …… 16
　　1 気と血の関係 …… 18
　　2 気と津液の関係 …… 18
　　3 気と精の関係 …… 18
　　4 気・血・津液・精の関係 …… 18
　G．「陰陽」と気・血・精・津液の関係 …… 19
　H．神 …… 19

Ⅱ．臓　腑 …… 20
　A．五　臓 …… 20
　　1 心 …… 21
　　1）心の機能 …… 21
　　2）心気・心血・心陰・心陽 …… 22
　　附）心包絡 …… 22
　　2 肺 …… 22
　　1）肺の機能 …… 23
　　2）肺気・肺陰 …… 24
　　3 脾 …… 24

1）脾の機能 …… 24
2）脾気・脾陽・脾陰・中気… 25
4 肝 …… 26
1）肝の機能 …… 26
2）肝気・肝血・肝陰・肝陽 27
5 腎 …… 27
1）腎の機能 …… 28
2）腎精・腎気・腎陰・腎陽… 29
附）命　門 …… 29
6 臓と臓の関係 …… 30
1）心と肺 …… 30
2）心と脾 …… 30
3）心と肝 …… 30
4）心と腎 …… 30
5）肺と脾 …… 32
6）肺と肝 …… 32
7）肺と腎 …… 32
8）脾と肝 …… 32
9）脾と腎 …… 32
10）肝と腎 …… 33
B．六　腑…… 33
1 胆 …… 33
1）胆の機能 …… 33
2）胆と肝の関係 …… 34
2 胃 …… 34
1）胃の機能 …… 34
2）胃と脾の関係 …… 34
3 小　腸 …… 35
1）小腸の機能 …… 35
2）小腸と心の関係 …… 36
4 大　腸…… 36
1）大腸の機能 …… 36
2）大腸と肺の関係 …… 36
5 膀　胱…… 37
1）膀胱の機能 …… 37
2）腎と膀胱の関係 …… 37
6 三　焦…… 37
1）三焦の機能 …… 37
2）部位としての概念…… 38
3）弁証の概念 …… 38
4）三焦と心包絡の関係…… 38
C．奇恒の腑 …… 38
1 脳・髄・骨 …… 38
2 脈 …… 39
3 女子胞 …… 39
Ⅲ．経　絡 …… 39
1 経絡の組成 …… 40
2 十二経脈 …… 40
3 奇経八脈 …… 41
Ⅳ．病因と病変 …… 45
A．病　因…… 45
1 内　因…… 45
1）体質素因 …… 45
2）精神的素因 …… 46
2 外　因 …… 46
1）生活素因 …… 46
（1）飲食不節 …… 47
（2）房室不節 …… 47
（3）労　倦 …… 47
（4）寄生虫 …… 47
（5）中　毒 …… 47
2）自然素因 …… 47
（1）六　淫 …… 47
①風　邪 …… 47
②寒　邪 …… 48
③湿　邪 …… 48
④火　邪（熱邪）…… 49
⑤暑　邪 …… 49
⑥燥　邪 …… 50
（2）癘気（戻気・疫癘） … 50
（3）外　傷 …… 50
3 病理的産物 …… 51
1）気　滞 ……51
2）瘀　血 ……51
3）痰飲・水腫 ……52
B．病変の発生と進行の機序… 52
1 陰陽失調 …… 53
1）陰陽の偏衰 ……53
2）陰陽の偏勝 ……53
2 邪正相争 …… 55
1）正勝邪退 ……55
2）邪盛正衰 ……55
3 陰陽失調と邪正相争の相互転化 …… 56
Ⅴ．陰陽について …… 56
1 はじめに …… 56
2 教科書にみる陰陽の認識… 57
3 人体を構成する基礎物質としての「陰陽」について…… 59
1．哲学的概念としての陰陽… 59
2．教科書にみる陰陽の認識… 60
3．「陰陽」の生成と輸布 …… 62
4．「陰陽」の生理機能 …… 63
5．「陰陽」と気・血・精・津液の関係 …… 63
（1）生理的な関係…… 63
（2）病理的な関係…… 64
（3）陰虚の病態 …… 64
（4）陽虚の病態 …… 64
6．「陰陽」と先天の精の関係… 65
A．陰証と陽証…… 66
B．陰と陽（人体の構成成分） 67
C．陰邪と陽邪（病邪の性質） 68
D．陰病と陽病（《傷寒論》における病態の区分） …… 68
Ⅵ．五行について …… 68
A．五行学説の基本的内容…… 69
1 五行の特性 …… 69
2 五行の相生・相克・相乗・相侮 …… 70
B．中医学における五行学説… 71
C．太極と陰陽五行説について 73

第3章　四　　診　77

Ⅰ．望　診 …… 77
A．精神・意識状態…… 77
B．形態と動態…… 78
1 形　態 …… 78
2 動　態 …… 78
C．色　沢…… 79
1 顔　色 …… 79
2 皮　膚 …… 80
3 指　紋 …… 81

D．舌　診…… 82
1 舌診の方法 …… 82
2 舌質の観察 …… 83
1）舌の形態 …… 83
2）舌の運動 …… 84
3）舌体の色沢 …… 91
3 舌苔の観察 …… 91
1）舌苔の質 …… 92
2）舌苔の色沢 …… 93
4 舌苔・舌質の変化 …… 95
1）外感病における変化…… 95
2）内傷病における変化…… 95
E．顔面・頭部の形態と色沢… 96
1 頭 …… 96
2 頭　髪 …… 96
3 眼 …… 96
4 鼻 …… 97
5 唇・歯・咽喉 …… 97
6 耳 …… 98
7 頸　部 …… 98
F．分泌物・排泄物…… 98
1 喀　痰 …… 98
2 鼻汁・涙 …… 98
3 吐　物 …… 99
4 糞　便 …… 99
5 尿 …… 99
Ⅱ．聞　診 …… 99
A．音　声……100
1 発　音 ……100
2 言　語 ……100
3 呼　吸 ……100
4 咳　嗽 ……100
5 吃　逆（呃逆）……101
B．臭　い……101
1 身体から発する臭い ……101
2 分泌物・排泄物の臭い …101
Ⅲ．問　診 ……101
A．家族歴……101
B．既往歴……102
C．現病歴……102
D．主　訴……102
E．自覚症（現症）……102
1 寒　熱 ……102
2 汗 ……103
3 口渇と水分摂取 ……104
4 摂食・味覚 ……104
5 睡　眠 ……105
6 大　便 ……106
7 尿 ……107
8 頭部・顔面 ……107
9 胸部・腹部 ……108
10 四肢・腰部その他 ……108
11 月経・妊娠・分娩 ……109
Ⅳ．切　診 ……109
A．脈　診……109
1 脈診の方法 ……110
1）時　間 ……110
2）部　位 ……110
3）体　位 ……110
4）平　息 ……111
5）指　法 ……111
2 脈　象 ……111
1）正常脈 ……111
2）病　脈 ……112
［脈位の深浅］
（1）浮　脈 ……112
（2）沈　脈 ……112
（3）伏　脈 ……112
［脈拍の遅速］
（4）遅　脈 ……113
（5）緩　脈 ……113
（6）数　脈 ……113
［脈拍の強弱］
（7）虚　脈 ……113
（8）実　脈 ……113
［脈拍の大小］
（9）大　脈 ……116
（10）洪　脈 ……116
（11）細　脈（小脈）……116
［脈の長短］
（12）長　脈 ……116
（13）短　脈 ……117
［血流の変化］
（14）滑　脈 ……117
（15）渋　脈 ……117
［血管の緊張度の変化］
（16）弦　脈 ……117
（17）緊　脈 ……117
［脈拍のリズムの異常］
（18）促　脈 ……118
（19）結　脈 ……118
（20）代　脈 ……118
［複合の脈象］
（21）濡　脈 ……118
（22）弱　脈 ……118
（23）牢　脈 ……119
（24）動　脈 ……119
（25）微　脈 ……119
（26）散　脈 ……119
（27）芤　脈 ……119
（28）革　脈 ……120
3 脈診と症候 ……120
B．触　診……121
1 皮　膚 ……121
2 四　肢 ……121
3 胸　部 ……122
4 腹　部 ……122
5 経　穴（ツボ）……122

第4章　弁証論治　123

Ⅰ．八綱弁証 ……123
A．陰　陽……124
1 陰証・陽証 ……125
2 陰虚・陽虚・亡陰・亡陽　125
1）陰　虚 ……125
2）陽　虚 ……126
3）陰陽両虚 ……126
4）亡陽と亡陰 ……127
B．虚　実……127
1 虚　証 ……128
2 実　証 ……130
3 虚実挾雑 ……131
1）先攻後補 ……132

2）先補後攻 ……133
3）攻補兼施 ……133
4 仮実・仮虚 ……133
1）仮　実（真虚仮実）……133
2）仮　虚（真実仮虚）……134
5 虚実の転化 ……134
C．寒　熱……134
1 寒　証 ……135
1）実　寒（寒盛）……135
2）虚　寒（陽虚）……136
2 熱　証 ……138
1）実　熱（熱盛）……138
2）虚　熱（陰虚・陰虚内熱）139
3 寒熱挾雑 ……140
1）上熱下寒 ……140
2）表寒裏熱 ……140
4 仮寒・仮熱 ……141
1）仮　寒（真熱仮寒）……141
2）仮　熱（真寒仮熱）……141
5 寒熱の転化 ……141
D．表　裏……142
1 表　証 ……142
1）表　寒（風寒表証）……143
2）表　熱（風熱犯衛・風熱表証）……144
2 裏　証 ……144
1）裏　熱 ……145
2）裏　寒 ……145
3）裏　実 ……145
4）裏　虚 ……145
3 半表半裏証 ……145
4 表裏の転化 ……148
5 表裏同病 ……148
Ⅱ．気血津液弁証 ……148
A．気の病証……149
1 気　虚 ……149
2 気　滞（気実）……150
B．血の病証……152
1 血　虚 ……152
2 血　瘀 ……153
3 出　血 ……155
1）血　熱（血熱妄行）……155
2）血　瘀 ……156
3）気　虚（気不摂血・脾不統血）……156
C．気血同病……157
1 気滞血瘀 ……157
2 気血両虚 ……157
3 気随血脱 ……157
D．津液の病証……158
1 津液不足（津虚）……158
附）血　燥 ……159
2 湿・痰飲・水腫 ……159
Ⅲ．臓腑弁証 ……159
A．心と小腸の病証……160
1 心気虚・心陽虚 ……160
附）心肺気虚 ……162
附）心腎陽虚 ……162
2 心血虚・心陰虚 ……163
附）心脾両虚 ……163
附）心腎陰虚 ……164
3 心火（心火旺・心火上炎・心火亢盛）……164
附）心熱下注小腸（心熱を小腸に移す）……165
附）心腎不交 ……165
4 胸　痺（心痺・胸陽不運・心血瘀阻）……166
5 痰迷心竅 ……167
6 痰火擾心 ……167
B．肺と大腸の病証……168
1 肺気虚 ……168
附）肺脾気虚（肺脾両虚）…170
2 肺陰虚 ……170
附）肺気陰両虚 ……171
附）肺腎陰虚 ……171
3 肺失宣粛 ……171
1）風寒束表・寒邪犯肺……172
2）風熱犯肺・熱邪犯肺……172
3）燥邪犯肺 ……173
4）痰飲伏肺（痰湿阻肺）…174
5）風水相搏 ……174
4 腸虚滑脱（大腸虚寒）……175
5 大腸湿熱 ……175
6 腸燥便秘（大腸燥結）……176
1）実熱燥結 ……176
2）陰虚燥結（腸液虧耗）…176
C．脾と胃の病証……177
1 脾運衰弱 ……177
1）脾気虚（脾胃気虚・脾胃虚弱・中気不足）……177
2）脾陽虚（脾陽不振・脾陽虚弱・脾胃虚寒）……180
3）中気下陥 ……181
4）脾陰虚（脾気陰両虚）…181
2 脾不統血（気不摂血）……182
3 胃陽不足 ……182
1）胃気虚 ……182
2）胃陽虚（胃虚寒・胃気虚寒）……183
4 胃陰虚（胃陰不足）……183
5 寒湿困脾（湿困脾胃）……184
6 湿熱阻滞脾胃 ……184
7 胃　寒（寒痛）……185
8 胃　熱（胃火）……186
9 食滞胃脘（胃中停食）……186
10 胃気上逆 ……187
D．肝と胆の病証……188
1 肝血虚 ……188
2 肝陰虚・肝陽上亢 ……191
3 肝風内動 ……192
1）肝陽化風 ……192
2）熱極生風 ……192
3）陰虚動風 ……193
4）血虚生風 ……193
4 肝気鬱結（肝気鬱滞・肝鬱気滞・肝鬱・気鬱）……194
附）気　厥（肝気逆）……195
5 肝　火（肝火旺・肝火上炎）……195
附）心肝火旺 ……196
附）肝火犯肺（木火刑金）…196
6 肝胆湿熱 ……196
7 寒滞肝脈（寒疝）……197

8 肝気横逆（肝気横逆脾胃）197
1）肝胃不和 ……198
2）肝脾不和 ……198
E．腎と膀胱の病証……200
1 腎精不足（腎虚）……201
2 腎気不固 ……202
3 腎陽虚 ……203
附）腎虚水氾 ……203
4 腎陰虚 ……204
5 腎不納気 ……205
5 膀胱湿熱 ……205
Ⅳ．病邪弁証 ……206
A．六　淫……206
1 風邪の病証 ……207
1）外感風邪 ……208
2）風邪侵入経絡（風邪襲絡）208
3）風　疹 ……210
附）内　風 ……210
風邪による病変の弁証論治における注意点……211
2 寒邪の病証 ……211
1）外感寒邪 ……212
2）寒　痺（痛痺）……212
3）寒　痛 ……212
4）寒　瀉 ……212
5）寒　疝 ……213
寒邪による病変の弁証論治における注意点……213
3 湿邪の病証 ……214
1）外感湿邪 ……214
2）湿　痺（着痺）……214
3）湿　阻（湿困）……214
4）湿　熱 ……215
5）その他 ……217
湿邪による病変の弁証論治における注意点……217
4 熱邪（火邪）の病証 ……219
1）外感熱邪 ……219
2）実熱と虚熱 ……220
3）熱　痺 ……220
4）その他 ……220
熱邪による病変の弁証論治における注意点……220
5 暑邪の病証 ……222
1）傷暑・中暑 ……222
2）暑　温 ……223
3）陰　暑 ……223
暑邪による病変の弁証論治における注意点……223
6 燥邪の病証 ……224
燥邪による病変の弁証論治における注意点……224
B．食積の病証……225
食積による病変の弁証論治における注意点……225
C．気　滞……225
D．血瘀の病証……225
E．痰飲・水腫の病証……225
1 痰の病証 ……226
1）肺の痰証 ……226
2）心の痰証 ……228
3）脾胃の痰証 ……229
4）風痰上擾 ……230
5）胸脇部の痰（飲）証……230
6）経絡・四肢の痰証……231
痰による病変の弁証論治における注意点……231
2 飲の病証 ……231
3 水腫の病証 ……232
Ⅴ．外感熱病弁証 ……232
A．外感熱病の特徴……233
1）発　熱 ……233
2）病変の経過における段階 233
B．《傷寒論》と温病学 ……234
1 六経弁証 ……235
1）太陽病 ……235
2）陽明病 ……237
3）少陽病 ……239
4）太陰病 ……239
5）少陰病 ……240
6）厥陰病 ……241
2 衛気営血弁証 ……242
1）衛分証 ……244
2）気分証 ……244
3）営分証 ……245
4）血分証 ……245
5）心包証 ……246
3 六経弁証と衛気営血弁証の関係 ……248

第5章　治療法則　251

Ⅰ．治　則 ……251
A．本治と標治……251
1 治本・治標 ……252
1）急なれば則ちその標を治し，緩なれば則ちその本を治す……252
2）標本同治 ……252
2 正治・反治 ……252
1）寒因寒用 ……253
2）熱因熱用 ……253
3）塞因塞用 ……253
4）通因通用 ……253
B．扶正と祛邪……254
1）先攻後補 ……254
2）先補後攻 ……254
3）攻補兼施 ……255
C．陰陽の調整……255
1 陰陽偏盛の調整 ……255
1）陰陽偏盛だけの場合……255
2）陰陽偏盛に陰陽偏衰をともなう場合 ……255
2 陰陽偏衰の調整 ……256
1）陰陽偏衰だけの場合……256
2）陰陽偏衰に陰陽偏盛をともなう場合 ……256
D．加　減……257
1 因時制宜（季節による加減）……257
2 因地制宜（地域・環境による加減）……257
3 因人制宜（個体差による加減）……257

Ⅱ．治　法 ……258
A．発汗法（汗法・解表法）…258
1 辛温解表 ……258
2 辛涼解表 ……259
3 解表変法 ……259
1）益気解表 ……259
2）補陽解表 ……259
3）補血解表 ……260
4）滋陰解表 ……260
5）理気解表 ……260
6）化飲解表 ……260
発汗法を使用するうえでの注意点 ……260
B．清熱法……261
1 清熱解毒 ……261
2 清熱瀉火 ……261
3 清熱涼血 ……262
4 清熱燥湿 ……262
5 清虚熱（滋陰清熱）……263
清熱法を使用するうえでの注意点 ……263
C．瀉下法……263
1 寒　下（清熱瀉下）……263
1）熱結の瀉下 ……264
2）熱毒の瀉下 ……264
3）上部の熱盛の瀉下……264
2 温　下 ……264
3 潤　下（潤腸通便）……265
4 逐　水 ……265
5 攻　痰（滌痰）……265
6 逐　瘀 ……266
7 導　滞 ……266
8 瀉下変法 ……266
瀉下法を使用するうえでの注意点 ……266
D．和解法……267
1 和解半表半裏 ……267
2 和営解鬱 ……267
3 調和肝胃 ……267
4 調和肝脾 ……268
5 調和脾胃 ……268
和解法を使用するうえでの注意点 ……268
E．温裏法（温法）……268
1 温中散寒 ……269
2 回陽救逆 ……269
3 温陽利水 ……269
4 温経散寒 ……270
温裏法を使用するうえでの注意点 ……270
F．補益法（補法）……270
1 補　気（益気）……270
2 補　血（養血）……271
3 補　陽（温陽・壮陽・助陽）……271
4 補　陰（滋陰）……271
補気・補血・補陽・補陰の関係 ……272
補益法を使用するうえでの注意点 ……272
G．消散法（消法）……273
1 消　食 ……273
2 化　瘀（祛瘀・活血祛瘀）……273
3 軟　堅 ……274
4 化　痰 ……274
1）化痰止咳 ……274
2）和胃化痰 ……275
3）熄風化痰 ……275
4）豁痰開竅 ……275
5 化　湿（祛湿）……275
1）解表化湿 ……275
2）温中化湿（芳香化湿・苦温燥湿）……276
3）清熱化湿 ……276
4）利水滲湿（淡滲利水）…276
5）温陽利水 ……276
消散法を使用するうえでの注意点 ……276
H．理気法……277
1 行　気（理気）……277
2 疏肝理気（理気解鬱）……277
3 降　気 ……277
理気法を使用するうえでの注意点 ……278
I．固渋法……278
1 斂　汗（止汗）……278
2 斂　肺（止咳）……279
3 渋　腸（止瀉）……279
4 固　精 ……279
5 縮　尿 ……279
6 固　経 ……279
7 止　帯 ……280
8 止　血 ……280
固渋法を使用するうえでの注意点 ……280
J．鎮納法……280
1 鎮心安神 ……281
2 潜陽熄風 ……281
3 固腎納気 ……281
鎮納法を使用するうえでの注意点 ……281
K．開竅法……282
1 清心開竅（涼開）……282
2 豁痰開竅（温開）……282
開竅法を使用するうえでの注意点 ……282
参考図書 ……283
方剤索引 ……287
中医学用語索引 ……315
症状・病証索引 ……328
西洋医学の病名索引 ……337
あとがき ……341